

5月から毎月傘をさして歩く自然観察会が続き、ようやく晴れとなったこの日、名古屋の最高気温は今年最高の38.9度を記録し、全国でも2番目の暑さとなりました。それでも東山の森では木陰に入ると幾分かの過ごしやすさを感じられました。大人は前半で既にバテていましたが、子どもたちは虫網を手に最後まで元気いっぱい動き回っていました。

大学生が捕らえた**タイワンタケクマバチ**を見ると、後ろ足に花粉がたくさんついていました。大坂池北の水路沿いに咲いた**ミソハギ**の花を**モンキチョウ**や**ベニシジミ**、**ツバメシジミ**、**マメコガネ**が訪れていました。



タイワンタケクマバチ



ミソハギとモンキチョウ



ミソハギとベニシジミ

脱皮後間もない**ツマグロオオヨコバイ**の幼虫がいました。成虫は体色の黄色が目立ってバナナ虫と呼ばれます。畑のマルバヤナギには**アブラゼミ**と**ニイニイゼミ**がとまっていた。そこへ飛んできたのはなんと**アカボシゴマダラ**で大学生が急いで捕獲しました。人為的に持ち込まれたものが徐々に分布広げた特定外来種で、平和公園では初記録です。同じエノキを食草とする在来のゴマダラチョウとの競合が懸念されます。



ツマグロオオヨコバイの幼虫



アブラゼミ



アカボシゴマダラ

近年すっかり見かけなくなった**オオオナモミ**ですが、去年見つけて印をつけて保護されていた1本の周辺に、今年は何本も育っていました。中道で子どもが捕らえたトンボは**マユタテアカネ**と同定され、その名の由来となる頭部の斑紋を確認しました。湿地へ向かう道の途中で**ワレモコウ**が咲いているのを観察しました。ずいぶん草丈を伸ばして、胸の高さほどのところに花がついていました。その近くで**シロバナサクラタデ**も咲き始めていました。湿地では毎年**サギソウ**の花の数を数えていますが、この日は6個しか見つかりませんでした。また**シラタマホシクサ**のつぼみが色づいて無数の小さな白い点となって広がっていました。



オオオナモミ



マユタテアカネ



ワレモコウ



シロバナサクラタデ



湿地の観察



サギソウとシラタマホシクサ



イネが青々と育つ田んぼでは、アメリカザリガニなどを捕獲するための**もんどり**を仕掛けてあり、引き上げて調べてみることにしました。合計で**アメリカザリガニ**が20匹**ドジョウ**が4匹入っていました。



もんどりを上げる



アメリカザリガニ



ドジョウ

田んぼの南の大きなカキノキの葉では**イラガの幼虫**が集団で見られました。この日の参加者の中には刺されたことのある人が何人もいました。そこへ**キノカワガ**が飛んできました。参加者の女性が、希少な水草である**トリゲモ**を紹介しました。この田んぼに入れた土と一緒に運ばれてきたものだそうです。



イラガの仲間の幼虫



キノカワガ



トリゲモ

一万歩コースには誰かの手で木が伐られ視界が開けた場所があり、遠く名古屋駅のタワーまで見る事ができました。ネジキに**コノシメトンボ**がとまっていた。栗林へ降りると未熟な**イガ**が青いままだくさん地面に落ちていました。この時期に落ちるイガは受精していないか発育不良の実とのことでした。



遠景を望む



コノシメトンボ



落ちたクリ

足元の**ミズヒキ**は盛りが過ぎて紅白に咲く雄花は見られず、赤い雌花だけが残っていました。アカメガシワには**シャクガの幼虫**がピンと伸びきった状態で静止していました。種名はわかりませんでした。最後に里山の家の壁を歩く**シラヒゲハエトリ**を見つけました。全身を細かい白い毛でおおわれてフサフサでした。



ミズヒキ



シャクガの幼虫



シラヒゲハエトリ

平和公園での観察項目(観察順):、ムクゲ、ミソハギ、モンキチョウ、ベニシジミ、ツバメシジミ、マメコガネ、タイワンタケクマバチ、オオオナモミ、グンバイ、ヤマイバラ、オオウラジロ、クワイモ、イヌホオズキ、ニジュウヤホシテントウ、ホオズキ、イナゴの幼虫、ツマグロオオヨコバイの幼虫、グンバイナズナ、マユタテアカネ、アブラゼミ、ニイニイゼミ、ウシカメムシ、アカボシゴマダラ、サトクダマキモドキ、ワレモコウ、ヌマガヤ、サギソウ、シロバナサクラタテ、ツククサ、イネ、田んぼのもんどり、アメリカザリガニ、マドジョウ、アリ、トリゲモ、シャジクモ、オオカマキリの幼虫、イラガの仲間の幼虫、キノカワガの繭、キノカワガ、コバネイナゴ、コノシメトンボ、モンズメバチ、遠景の名古屋駅のタワー、オケラ、ムネアカハラビロカマキリの幼虫、ヤマコウバシ、アオバハゴロモ、落ちたクリ、カシノナガキクイムシの入ったコナラ、ミズヒキ、シャクガの幼虫、アオメアブ、シラヒゲハエトリ、ツクツクボウシの声